

# 福岡

福祉活動専門員の

## ま な こ

社協活動前進のために

特別編集号 1990年3月発行 福岡県専門員連絡会 まなこ編集委員会 印刷 コロニー印刷

### 「発行にあたって」

この「まなこ」特別編集号の発行にあたり、各社協より送付頂きました広報誌から、編集委員の独断で掲載する記事を選ばせて頂くことにしました。しかし、各社協とも各々違った広報誌への取り組みが見られ、どの広報誌、どの記事を選ぶか大変苦労しました。

しかしながら、その中でも、記事の内容や活動が「これは」と思えるものを選んでみました。

今後の広報誌づくりに役立てて頂ければ幸いです。

最後に、紙面の都合上、僅かしか掲載出来ませんでしたことをお詫び致します。

### ○視力障害者とボランティアによる料理講習会



11月15日(木)、10時から健康センターで目の不自由な人達のための料理講習会が開かれました。

健康課の保健婦さんや、点字ボランティア(螢の会)の方々によって点訳された献立表と調理テキストを使って、講習が始まりました。

視力障害者も受講に熱が入れば、助手役のボランティアも包丁使いの介添に汗だくだった。出来上がった料理を皆さんで囲んで食べながら会話に花が咲きました。

小郡社協 「おこおりふくし」第53号 平成2年1月1日

### 築ブロック

元気な人も  
ある日 思いがけなく  
体の自由を失ったり  
病の床につかねばならない  
ことがある  
本人も家族も  
再びもとの体を取り戻すべく  
たゆまぬ努力を重ねる  
ホームヘルパーは  
いつも優しく でも  
時には厳しく  
再起への手伝いをする  
家族の愛  
隣近所の人たちの愛  
いろいろな愛情が  
心の支えとなる

北野町社協  
「はさまち社協だより」  
第9号 平成元年9月20日

### あとかき

大きい子、チビスケ。月お泣き虫、強い子、月お日様は、みんなみんな、同じに照らしている。月いじめっこ、甘えん坊。月おぐずぐず、あわてん坊。月誰だっけか、月みんな、少しづつ伸びている。月くー。(NHKおあさんど二緒より) —と、ふっと何げなく子供が聞くカセットに耳を傾けた。うん、なるほど!! 童謡も満更バカにできない。この歌のように、本当にみんないが太陽の光を浴び、少しづつでも伸びているだろうか? どうも、これは、子供だけの世界のようだが、この歌を福祉に置き換えて考えることにした。みんながみんな福祉の手を浴びているだろうか? 健康な人も、病人も。子供も、老人も。そして、裕福な人も、そうでない人も。何だか福祉が片寄ってはいないだろうか? 本来、福祉とは、全員に与えられるべきではないか? 健康な人が受ける福祉とは? と、なかなか難しいものである。私は一借りたら返そう。自分がしてもらったことは、誰かに返そう。という言葉が好きだ。誰にでも老いは必ずやってくる。私もいつ障害者になるかわからないし、いつ、母子家庭になるかわからない。今のうちに、お世話できることは、してあげよう。と、頑張っている今日このごろです。本来人間が地域社会の中で連帯していくには、「人は皆、どこかで助け合って生きていく」というのが基本的な姿勢であり、また意識でなくてはならない。強い者は、弱い者に手助けする。若い者は、老人に手を貸そう。健康な者は、病人のお世話をする。これが人間社会の当然の姿だと思う。この当然のことをしている人がほめられたり、表彰を受けたたりする今の時代が不思議に思えてならない...

北野町社協  
「社協だより」  
第7号 平成元年6月30日



写真は尾迫の吉瀬勝巳さん(82才) と後で見守る奥さんのミキさん

# 親父さん

昔から「わいのもの」の代表を、「地震、雷、火事、親父」と表現されてきました。地震と雷は、自然現象で天災で人間の力ではどうしようもありませんが、火事は人災、自分たちの注意で充分防ごうとができますね。それにしても現代の親父感覚はどうか、どう、どうも「わいのもの」の表現には、あてはまらないように思われてなりません。

「わいのもの」の代表に表現されている親父には、大事な意味がこめられていると思いませんか。家庭での子供のしつけ、教育にはよい意味で親父のひと言は、大変な効果があつたと思いませんか。

今はカツコよい親父さんが多くは、もうありません。家庭での父親の座は、母親の方にゆずらねばと思われることが多く、でもそれがいい、いいというではありません。

最近の女性は、子育ても本音で語りナマの自分をさらけ出すことにはめづらないようです。今、オバタリアンという新語を耳にすると、対するオジタリアンに比べてオバタリアンの方が、子ネルキミエとあり、また社会の不正に対しても、ストップボタンがあるといふ、この世の男性は、お父さんでよいやうか。

浮羽町社協  
「社協だより」  
第20号 平成元年3月15日

# “ふれあい”の輪をひろげよう

## 竹野校区青少年健全育成の集いから

去る二月二十五日(土)竹野小学校で、竹野校区青少年健全育成の集いが開催されました。この催しは、竹野校区青少年健全育成協議会が主催したもので、竹野に住むものみんなが「ふれあい」の輪をひろげ、竹野の子どもたちを健やかに育てようという目的の集いでした。

当日は、PTA、婦人会、老人会の協力で、盛り沢山の行事が行われました。

まず、授業参観の形をとり、子どもたちと一緒に伝承遊び。親子三世代が一緒になって昔から伝わる遊び道具を作って遊びました。子どもたちは、老人会とPTAの方に作り方や遊び方の指導を受けました。

各学年の伝承遊びは次のとおりです。

- 一年生 あやとり遊びと風船に花の種をつけて飛ばす
- 花いっぱい運動
- 二年生 お手玉遊び
- 三年生 竹笛遊び
- 四年生 竹とんぼ遊び
- 五年生 たこあげ遊び
- 六年生 竹馬遊び

どの学年も遊び道具を習って作っているようすは、大人と子どもが寄り添いながやかな雰囲気でした。

伝承遊び終了後は、全体会と講演会。「佐賀にわか」で有名な

田主丸町「たぬしまる」第37号 平成元年5月1日



# マンガの本

汽車の中や若い人達がまるで憑かれたようにマンガの本に耽りふけっているのをよく見かけます。

よくよく観察してみますと、何んとまあいろいろなマンガの本があるものですね。大学生向、高校生向、中学生向、小学生向、児童向、男の子、女の子、本当に種々雑多です。

元来マンガの本には、即興の本という先入観がありその笑いの中心時代を風刺して、庶民の不満が即座に消化するようには痛快さがあつたり、それは面白くして居たり、笑って楽しめる好書です。

しかし中には残酷や若狭にはまともな笑えないものがあり、マンガはあくまで漫画であつてはいけません。

啓蒙的でそのおもしろいマンガこそ、眼が覚めて字が読めない若狭にも最適、何も若い人向だけにせよ、若狭のマンガが作られてもいいのではなからうかと思われてなりません。

そしてマンガの本のもつ社会への影響力も無視できないことをつけくわえたい。

浮羽町社協  
「社協だより」  
第20号 平成元年4月15日

を筑紫美生子先生が招かれ、先生の体験を通した「この道しかなかった」が講演されました。筑紫先生の多難にとんだ人生に、会場のみなさんは大変な感動でした。最後に楽しい集いにしようとしてPTA、婦人会の方々にやるバザーが開かれ、おにぎり、団子汁、フランクフルトなど盛り沢山の用意がされてあり子どもたちにも大ウケでした。また、この他に老人会の方と子どもたちがチームをつくり、ゲートボール大会が行われる予定でしたが、当日は雨のため中止となりました。しかし、校長先生のお話によると、当日までの練習でお年寄り子どもたちのふれあいが盛んに行われ、試合はできなかったものの十分目的は達せられたということでした。

# きかんになる石けんづくり

吉井町社協では、昨年より私たちの身近な問題である環境問題について取り組んでいます。

特に「合成洗剤」については、単に環境汚染に止まらず、生命にも関わる問題として、その追放と石けん使用の普及を推しています。その一環として行っている「石けん作り」



「固形石けんを作る人」

吉井町社協「福祉の広場」

第66号 平成元年3月3日

# 老人介護手当の意義

昔から親を看とるのには子の責任であるという人間本来の考えが私たちの心根にしっかりと根づいていないから、現在の私たちの生活環境は、必ずしもそのとおりにはいかないこと、のほろが多い世の中です。

今、老人福祉施設は、どこも満員の状態です。

もともと福祉施設は家庭が機能し得なくなつたため、止むを得ずにつくられたものであるというところを考えると、むしろこれからは家庭がもっと機能するより努力することも必要なきこととしてよい。

家庭の介護機能のなかには、労力的な問題もありますが、何んといつても経済的な面の問題が大きいと思われまふ。

もしも福祉施設に交付される措置費のようなのが介護家庭に支給されたら、家庭の機能回復に大きな効果が期待できると思いませんか。

町の老人介護手当支給の意義も、奥深く考えればこの辺にあるのではと思われてなりません。

浮羽町社協  
「社協だより」  
第216号 平成元年11月15日

11月5日福岡市で開催された福岡県精神障害者スポーツ大会参加の浮羽町白鳥の会

老後のために何かしてみようか—そんなお気持ち下さい

# おかわりあしませんか

## 忠宮三区公民館の声かけ運動

地道な、絶やさぬ声かけ訪問  
～ 思いやり・支えあいのある地域づくり ～

忠宮三区公民館ではその活動の一環として、一人暮らしのお年寄り宅、老夫婦二人暮らしのお宅などを対象に、公民館長や公民館役員、隣組長さんが朝晩2回声かけをしてあります。  
中には元気でやっていらっしゃる方もおられるので、病弱な方々を重点においてあります。  
だれがだれそれ宅に行かなくてならんとは決めておりませんが、入れかわり立ちかわり訪問する、ということになります。

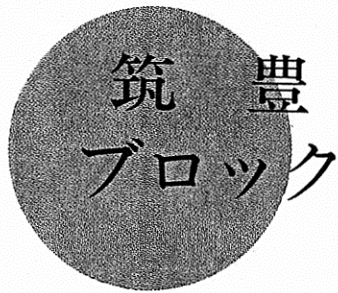
ニュースで「亡くなって1週間もして発見された」などと聞く胸が痛みます。トイレや入浴中に倒れると分りにくいし、当人もからだか冷えて死に至りやすいよう

### もうひとつの運動会

私は先頃、養護学校の運動会に行きました。その日は、近隣のほとんどの小学校で運動会があつて日でもあり、なかには、姉妹で養護学校と小学校と重なり、おとうさんとおかあさんがひとりずつ子供の運動会に参加されている家庭もありました。  
その運動会は、父母がバラバラとテントに座っていて、どこからでも自分の子はあの子だとわかり、ひとりひとりの子供たちに合わせた内容のものでした。足の不自由なI君は、毎日の学習(訓練)で少しずつ歩けるようになってきました。今日はそのことをおとうさん

だれもが住み良い町づくりを進める会

「キンモクセイ通信」第一号 一九九〇・一〇・一  
んやおかあさんやみんなに発表する場でもありました。  
在宅で訪問教育を受けているSちゃん、今日は学校のみんなと一緒に過せる楽しい日でもありました。  
そして親も先生も私たちも、みんな力を合わせて手をつなぎ、教えたり教えられたりしながら一緒に踊る楽しい運動会でもありました。  
私はこの子供達が養護学校を卒業しても、社会のみんなから大事にされ、人として生きていける、そんな社会であってほしいと願わずにはいられませんでした。(仲)



### 学校教育

#### 「ゆとり」の時間で

#### 「手話を学ぶ会」を開催

行橋小学校(福祉協力校)

「指からこころへ」をテーマに、第一回「手話を学ぶ会」が一月九日(火)に開催されました。京楽手話サークル「つくしんぼ」、京楽ろうあ福祉協会の会員五人が指導、言語聴覚力障害者の人たちの交流を通して、お互いの理解を深めました。福祉教育協力校として二年目の活動。

#### 「幼少時から福祉教育に」

幼少時から福祉教育にむけて取組む配慮が重要です。地域福祉活動の核心がボランティア活動にあることから、福祉教育は学校、地域社会において、つねにボランティアの心をつくることに目標がおかれなければなりません。その心は、人間は同じ時代に、共に生きていく」という認識を基礎に、その心を養成することが必要です。

行橋市社協

「ゆくはし社協だより」

第86号 平成2年2月1日

「小さい時から福祉を」北欧あたりではあたりまえになっています。日本の学校教育の場にもどんどん取り入れて欲しいと思っています。

### 二つの声のドッキング

匿名

この課題ほど聞口が広く、奥行きが深く、そして今日的に重大な課題であり、尚且つ、三年、五年と歳月の経過につれて、その内容の肥大する課題は少ないと考えます。でも小さな足許からこの課題に挑戦しては如何でしょうか。

福祉とは「多くの人々の幸福」と理解の上で、その幸福は各人の努力によって獲得するものと、「与え」「与えられる」社会人のお互いの社会参加の過程の中に充足されるものと、の二面あります。即ち「ギブアンド「テイク」のシステムの過程で「福祉のギブ」の障害の方は、国、県、市町村、色々なグループ、個人等であり、「福祉のテイク」の側の方は、色々なニーズを持つ家庭、個人等であり、ここで個人一人一人は福祉の担い手、受け手の二面を備えます。今日の担い手は明日の受け手であり、今日の受け手は明日の担い手となり、輪廻転生の世の様を現わしています。社会奉仕の出来る人は、今の内に貯金を稼ごう。社会奉仕の受け手は、心安らかにお願いしよう。これが社会福祉、地域福祉の出発点であります。福祉の芽生えです。その為には、私は社会奉

### カンテラ

障害者のあらゆる権利を保障していく中で、まずなんといっても就労・雇用保障があります。障害者にとって、就労・労働はたんに日常生活資料や資金をうるためのものとしての重要なものではありません。障害者が社会的に自立するための経済的自立の基礎をなすものとして大切であることは言うまでもないことですが、それと同時に障害者にとって働くことのもつ意味は、それだけにとどまらず就労・労働を通して障害者が仲間をもち、多様な人間関係や社会関係を結ぶなかで、人間としての全面的な発達の力が養われ、獲得される、その原動力ともなるというのです。たとえば、義務教育を終えたが、高校教育進学の道を閉ざされる障害児が、今に残される現状があります。学校教育で取得した生活自立のための諸能力を再び喪失させてしまうだけでなく、また、障害者であるがゆえに十分な教育を受ける機会に恵まれません、このことが学歴偏差主義の社会では就労・雇用条件の切り下げ、劣悪さに直結します。逆に重度障害者が共同作業所での仲間たちとのふれあいの中で、生きいきと成長、発達してはいる多くの実践例が示すように、障害者にとって就労・労働保障は生存的基本権であります。(鈴)

県内各地で共同作業所が出来ていますが、その根底はこの文章ズバリではないかと思えます。

直方市社協通信

「少数者」

第65号 一九九〇・一〇・一

仕能力として何が可能か?例えば、  
①ネタキリ老人等の話し相手ができる。  
②外出の介助ができる。  
③家事の手伝いができる。  
④本の読み聞かせができる。  
⑤点字や手話ができる。  
⑥とにかく自由な時間がある等々。  
⑦一人暮らしなのでさみしい。  
⑧とにかく自由な時間がある等々。  
⑨一人暮らしなのでさみしい。  
⑩この奉仕のエネルギーと二つの要求を社協に登録して、社協はそれぞ

れぞれの条件整備をした上で、「二つの声」をドッキングさせて、地域住民の福祉の参加協力の実態を創設する。その福祉活動推進の過程で「福祉ってな〜」は町民の暖かいまじわりの中に、ほのぼのと胸に浮かぶことでしょうか。

みんなの声

テーマ

「福祉ってな〜」

刈田町社協

「かんだ社協だより」

No.33 一九九〇年二月二十五日



## 福廣洋子のなごも

私が中学生の頃だった。いとこが妹達をスケートに誘いに来た。家に残った私と両親は、ただ、黙ってテレビを見ていた。重い空気が流れるのを感じながら、何も気にしていないふりをするのが精一杯で、その日は早々と布団に入り泣いた。帰って来た妹は「姉ちゃんごめんね」と一言いった。スケー

トがでできないのが悲しかった訳ではなく、いや、それもあつたかも知れないが、いろんな思いが一緒にになり淋しかった。  
こんな経験を何度もくり返しながら妹達と私は、それぞれに障害のことを考えている気がする。というよりは、障害を持つ私がいるくらしが妹達にしてみればあたり前前で体で感じながらかも知れない。今でも障害者に対し、ぶつかれることもあるが、それでいいと思うし、それが本

### ぶつかりながら

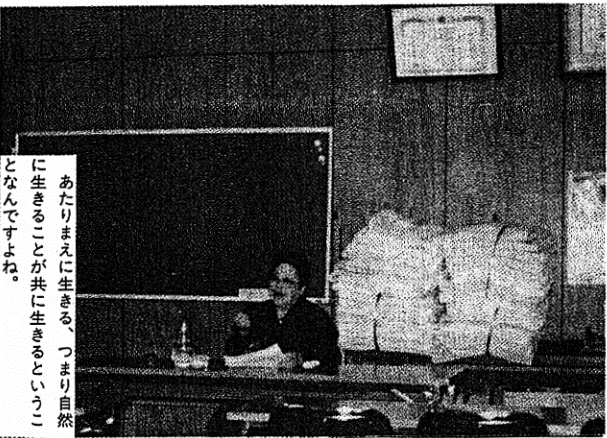
当ただと思う。このぶつかりがなければ、変に気を使ったり使われたりになってしまう。これは他人との関係でも同じで、つらいあと思うこともあるけど、いろんな人とのぶつかりが、お互いを認め

直方市社協

「少数者」

第65号 一九九〇・一〇・一

# 心の顕微鏡で 子どもの成長をみる



あたりまえに生きる、つまり自然に生きることが共に生きるということなんです。

第一期福祉塾の五回目が「子どもの成長をみる」として、講師に町立保育園の後藤美智江園長をむかえ開かれまし

た。子どもたちの何気ない言葉や行動の中にとて大切なことが隠されていて私たちが教わることがたくさんあります。しかし、日常子どもの人権を尊重してかわかることの大切さを考えさせられる二時間でした。

## あとがき



わが町にもいろんな人がいます。幸せな人、さみしい人、病気の人、身体が自由な人、ひとりぐらしのおとしより。そんなみんなが気軽に話し合い、助け合える町。子どもやおとしよりにあたたかい一言を、身体の不自由な人や、困っている人への、ちょっとした手助けを、通りの掃除や花いっぱいづくりを。これはだれにでもできることです。桂川町に住んでいるみんなの幸せを願い、ひとりひとりが力を出し合う、そこに福祉の町、桂川が生れると思うのです。(掲)

いつも言われていることだと思います。けれど、一番大切なことなのは桂川町社協「けいせん社協だより」第58号 平成2年1月16日

稲葉町社協「いなつき社協」第16号 平成2年1月15日

熊本市の諮問機関、熊本市長寿社会対策研究会(小寺清孝会長、十八人)は六日までに、老人介護などに民活を導入した第三セクター方式の「熊本市おせわ公社」設置などを盛り込んだ中間提言をまとめ、田尻精幹・熊本市長に答申した。画一的な公のサービスに民間サービスを盛り入れることで、高齢化社会を豊で活力あるものにしよというもの。こうした方式は東京・武蔵野市で実施され

「おせわ公社」はソーシャルワーカー、看護婦訪問のほか警報装置、家事、介護、食事、洗濯、外出付き添い、大掃除、力仕事などのサービスを請け負う。高齢者やその家族の経済的能力、および身体状況などに応じ、基本的には有料サービスとする。また不動産は持っているが現金のない利用者については、不動産を担保に生活費などを貸し付ける福祉資

# 老人介護に 「おせわ公社」

熊本市長寿研提言

## 民活導入、九州初

ており、実現すれば九州では初めてとなる。同研究会では①公的サービスだけでは、多様化するニーズにこたえることが難しい②財政能力に限界がある③ボランティア依存ではサービスの継続が不安定で、特に生活の質の工場や快適さを求めるニーズについては、民間サービスの利用も効果的④として「準公共的な福祉供給システムの確立が望

金貸し付け事業も展開する。職員体制はソーシャルワーカー、看護婦、登録ヘルパー、顧問弁護士、嘱託医で構成。老人ホームなど各専門機関とも連携し、情報交換、相互扶助に努める。特に民間に依存するサービスについては、自主規制や行政指導で内容を確保、職員の資質もチェックすることとなっている。

【私たちがもっとボランティア活動をやって福祉に力を入れなければと思います。そのためは、多くの人に呼びかけて一人ひとりが協力し合うことが大切ではないでしょうか?】

稲葉高校 井手悦子

高齢化社会を支える若者にボランティア活動の意識や重要性を理解してもらうことを目的に開催した「高校生ボランティア」に稲葉町の生徒連は、代表者の相良伍郎さんから高校生の障害者いじめの実情を聞き、同じ高校生が行うボランティアを受け、自分たちの日常の生活態度を反省するなどの思わぬ収穫を得ました。三月七日は、車イスやアイマスクをして、飯塚市内の商店街で買物や食事をするなど障害者を持つ人の立場を体験しました。いつもは何気なく入っていたデパートや商店街が車イスだととても苦勞したり、何でも一段落がアイマスクをするのとでも怖くて歩けなかつたりと発見

稲葉町社協「いなつき社協」第16号 平成元年4月15日